

サーチライト With Pastor Jon 黙示録16章 パート1

このメッセージはアップルゲート クリスチャン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBEやブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞かならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージby ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238

Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rin

大患難は、この後に来る実際の地上の王国に向けての準備期間で、そのために黙示録15章6-8節の御使いが天の聖所から出て来ます。

そして、

また、私は、大きな声が聖所から出て、七人の御使いに言うのを聞いた。

「行って、神の激しい怒りの七つの鉢を、地に向けてぶちまけよ。」(黙示録16:1)

大きな声は、恐らく神の声でしょう。

そこで、第一の御使いが出て行き、鉢を地に向けてぶちまけた。

すると、獣の刻印を受けている人々と、獣の像を拝む人々に、ひどい悪性のはれものができた。(黙示録16:2)

いよいよ七人の御使いたちが、患難の最後の7つの災いをぶちまけます。

最初にぶちまけられたのは、ひどい悪性の腫れ物を発生させる強い薬で、獣の刻印を受けた人々に耐え難い痛みを与えます。

はじめは、獣の刻印を受けることは新しいテクノロジーで、洗練された賢い方法、理にかなっているように見え、「どうしてクレジットカードや小切手、現金に煩わされるのか。

カードは盗まれるかも、小切手は不渡りを出すかも、現金は失くすかもしれない。

数字で売買する新しい統一経済秩序へと進もうじゃないか。」

この通りのことが起こっているのです。

聖書が反キリストと呼んでいる世界的な独裁者が登場し、経済システムを全く新しいものに変えてしまいます。

御使いが空を飛び、「獣の印を受けてはならない！この数字を手や額に受けるな!!!」と警告を与えているにも拘らず、人々は「これは理にかなっている！」
その名の数字を持っている者以外は、だれも、買うことも、売ることもできないようにした。（黙示録13:17）

「それでも、受けてはいけない！」と御使いたちは伝えますが、多くの人が彼らのメッセージを聞き入れず、殆どの人が144,000人のユダヤ人伝道者の言葉に耳を貸さず、自ら進んでこの制度を受け入れてしまいます。

ここで皆さんに見て欲しいのは、今、この制度そのものが、痛みを生み出しているということです。

罪とは常にこういうものです。

あなたが人の親で子供たちのことを思うなら、彼らに一番伝えなければならないことは、「娘よ。息子よ。よく聞きなさい。

もし罪を犯したのなら、あなたのためのとても良いニュースがある。

その罪は、十字架にかかれたイエス・キリストによって、既に代価が支払われているんだ。それはもう洗い流されている。

主は全てを支払い済みで、その上あなたのその罪を、もう思い出すこともない。」

なぜなら、わたしは彼らの不義にあわれみをかけ、もはや、彼らの罪を思い出さないからである。（ヘブル8:12）

「これは、あなたのために流されたイエスの血の力なんだよ。

あなたはもう赦されている。それはもう成し遂げられて完了しているんだ。

それだけ神様は素晴らしいんだよ。」

『すごい！じゃあ、罪を犯してもいいんだね！』

「いや、聞きなさい。

もし進んで罪を犯すなら、[あなたは赦される]というのはグッドニュースなんだけど、バッドニュースは、[あなたがたの罪の罰があることを思い知りなさい。（民数記

32:23）]

神があなたを捕えるんだよ。」

これは、エレミヤ書2章のメッセージです。

主は、中高生や子供たち、新しいクリスチャンたちに、基礎となる大切なことを伝えています。

あなたの神、主が、あなたを道に進ませたとき、あなたは主を捨てたので、このことがあなたに起こるのではないか。（エレミヤ書2:17）

あなたの悪が、あなたを懲らし、あなたの背信が、あなたを責める。

だから、知り、見きわめよ。

あなたが、あなたの神、主を捨てて、わたしを恐れないのは、どんなに悪く、苦々しいことかを。—万軍の神、主の御告げ—（エレミヤ書2:19）

神が言っているのは、「あなたがそれほどの苦しみや痛み、困難を抱えているのは、あなた自身の罪によるのだ。あなたの背信が、これらのことをもたらしているのだ。

わたしが罰を与えているのではない。」

「あなたを打ち叩いているのは、わたしではない。」と、神ははっきり言っています。

「それは、あなた自身の罪の結果だ。」
これが、今日の極めて重要なポイントです。

「先生...分かっています...」とあなたは言うでしょう。
あなたが分かっているという事は、私も分かっています。
それでも、どれだけの人たちが混乱していることか。
混同してしまって、イエスが私たちの罪の代価を支払われたという事実を呑み込めない。
パウロの時代に人々は、「既に罪の代価が支払われ、赦されて、罪を忘れられているのなら、罪を犯そうじゃないか。」とっていました。
そのため、パウロは宣言します。

罪の増し加わるころには、恵みも満ちあふれました。(ローマ5:20)

罪が増えれば、恵みも増えます。

罪が増せば、恵みも増します。

それでは、どういうことになりますか。

恵みが増し加わるために、私たちは罪の中にとどまるべきでしょうか。(ローマ6:1)

これについて、パウロは何と言いましたか？

絶対にそんなことはありません。(ローマ6:2)

とんでもない！それは、愚かなことだ！

なぜなら、罪を犯し続けるなら、罪そのものが問題を生み出すからです。

神は、あなたを赦し、その罪を思い出さず、あなたを罰することもしません。

キリストが、既にあなたの代わりに支払ったから。

しかし、罪、それ自体があなたを捕らえ、滅ぼすのです。

ここに出て来る人たちは獣の刻印を受け、それが彼らに痛みを与えています。

これはどういう意味でしょう。

可能性として大きいのは、刻印による遺伝子への影響です。

獣の刻印。

「おい！これはすごいぞ!! もう財布もクレジットカードもいらないんだ！

この刻印があれば、全ての金銭のやり取りができるんだ！」

そうして、これを受けることは賢明だと思込んでしまいます。

ところで、このシステムが決定される時に、まだ信者ではなくて、ここに残っている人たち、よく聞いて下さいよ。

聖書はこう言っています。

「もしあなたが刻印を受けるなら、はじめは賢い選択に思えるが、最終的にはそれがあなたを焼き尽くす。

患難時代には、それがあなたにひどい悪性の腫れ物をもたらし、更に悪い事に、それによってあなたは永遠に焼かれる。

なぜなら、刻印を受けると、もう救われることはできないから。

どれだけ頑張っても、望んでも、獣の刻印を受ける者は、自らが決断した地獄のような最悪の決定の中に封印されることになるから。

イエス・キリストから離れても、魂を保つことができると考える者たちは、耐え難いような痛みと非常に重い病を得る。」

獣の刻印とはチップの挿入かもしれませんが、そうであれ何であれ、この番号は全世界に

広められ、これを受けた者は、ひどい悪性の腫れ物ができました。（黙示録16:2）

第二の御使いが鉢を海にぶちまけた。

すると、海は死者の血のような血になった。

海の中のいのちのあるものは、みな死んだ。（黙示録16:3）

今日は時間がないので詳しくは言いませんが、興味深い事は、これらの鉢の裁きと、モーセの時代に起きたパロとエジプト人に下った災いの対比です。

これらが非常に似通っていることを発見するでしょう。

モーセの時代と言えども思い出すが、紅海が分かれた時のこと。

紅海が分かれてモーセたちが渡り切った後、パロと軍勢が戦車ごと入って行ったその時、海が元通りになって、彼らは全滅しました。

16章のここでは、もう一つの紅海が登場します。

と言っても中東の紅海ではなく、海が赤くなるのです。血のような赤に。

パロと軍隊が全員、紅海で死んだように、まさに海の中の生き物が全て死に、そのため海の水は赤色に変わるのです。

海の生物が全部死んで、海が赤い色になる。

これが何か、私には分かりません。

でも、これにととてもよく似たものを見た事があります。

高校最後の年に、サンタクルーズで赤潮が発生しました。

あれは、ものすごい光景でしたよ。

赤潮は、プランクトンが異常発生したことによって、水の色が血のような赤に見え、その異常増殖のために水中の酸素が欠乏します。

サンタクルーズの赤潮の時は、約1リットルの水の中に5000万のプランクトンです。

想像して下さい。

1リットルの中に5000万のプランクトン。

酸素は殆どなくなりますから、魚は死に、水は赤くなり、その上膨大な数の死んだ魚が浜に打ち上げられて臭うのです。

そして「魚を食べるな」の立て札があらゆる所にありました。

赤潮の期間、わずか数グラムで、サンタクルーズ全体を死に至らしめるほどの猛毒であるデノフィキシストシンが魚の体内に発生し、非常に危険だからです。

なので、魚が浜に打ち上げられたとしても、「やった！全部さらえて市場へ売ろう！」というような状況ではありません。

そういうことはできません。

これらの魚は、致命的な毒素を含んでいるから。

あのサンタクルーズの海の赤潮は、まさしくここで語られている血のようでした。

水が赤くなり、全てが死んで悪臭が漂う。

あの時と同じ事がここで起きる可能性は高いでしょうが、私には分かりません。

確かなのは、それは、間違いなくとても恐ろしいということ。

この時期、至る所が、痛み苦しんでいる人たちで溢れかえります。

それは獣の刻印を受けた人々が、代価を支払っているからです。

刻印を受けるのは、体に良くないのです。

見た目は可愛かったり、賢明に見えるかもしれませんが、それによって傷つけられ、激し

い痛みに襲われます。

そこで、「痛みを和らげるために海に行こう！」

事実、肌に傷がある時、痛みを和らげ、気分が良くなるには、海に行くのが一番です。なので、彼らも痛みや苦しみから逃れようと海に行くと、おぞましいものを目撃する。海全体が血に変わっていて、無残な状態です。

「海はだめだ。なら、とにかくここを離れて山へ行こう。川でマス釣りをしよう。山小屋へ行こう。」

そこで目にするのは、

第三の御使いが鉢を川と水の源とにぶちまけた。

すると、それらは血になった。（黙示録16:4）

フライフィッシングをしようと山に入り、湖に行くと、実際にこれが起こるのです。

とても想像し難いですが、海に行くと水は血になっていて、全てが死んでいる。

山に入って小川や沢に行ってみると、そこも血。

水栓をひねれば、血。

前にも言いましたが、こういうことに関して私たちは「ここまでする必要があるのか？」

「ちょっとやり過ぎじゃないか？」と言いたくなります。

でもここで起こっていることを見て下さい。

また私は、水をつかさどる御使いがこういうのを聞いた。

「今いまし、昔います聖なる方。あなたは正しい方です。

なぜならあなたは、このようなさばきをなさったからです。（黙示録16:5）

彼らは聖徒たちや預言者たちの血を流しましたが、あなたは、その血を彼らに飲ませました。彼らはそうされるにふさわしい者たちです。」（黙示録16:6）

ところで、これに気付きましたか？

水をつかさどる御使いがこういうのを聞いた。（黙示録16:5）

ということはつまり、御使いたちにはそれぞれに、環境や自然に関するものから物理的なものまで、地上で任されている領域があるのです。

人間を守るだけではないんですね。

明らかに、環境的なことも任されています。

水を司っているこの御使いは、「僕が任されている水を血に変えるとは、一体何を考えているんだ!!!」とは言いません。

「主よ。あなたのなさることは正しい。これが相応しいことです。

なぜなら、地上の彼らは、あなたの家族の聖徒たちや預言者たちの血を流したのだから。

遂には、あなたの御子の血を流しました。

だからこれが、公平で正しいのです。

これが、あるべき裁きです。」と言います。

これまで湯水の如く人々の血を流した彼らは、ここで自分たちの水が血に変わるのを見るのです。

書き留めて下さい。

黙示録を読むと、地上の人生で苦難にあった時に、とても役に立つことが見えてきます。

御使いたちも、24人の長老たちも、6つの翼を持ち、回りも内側も目で満ちた、即ち、内

側からも外側からも前から後ろからも見ることができる生き物も、天国にいる全ての生き物、全ての人は、黙示録の中で繰り返し繰り返し主が裁く度に、「あなたの裁きは、正しくて真実です。」とみんな口を揃えて言います。

「あなたの裁きは、正しくて真実です。」

御使いたち、長老たち、生き物たち、全員が口を揃えて、「あなたの裁きは、正しく真実です。」

皆さんの所にも色々な人が来て、こう言うでしょう。

「神様は、アフリカのピグミー族をどうするんだ？」

そこにはミッシヨナリーもいないし、福音なんか一度も聞いたこともないし。」

「オーストラリアのアボリジニはどうだ？」

「神は彼らをどうやって裁くんだ？」

「さあ、どうする？」

「赤ちゃんはどうなんだ？」

「乳児や幼児期に死んだ子供たちは？」

赤ちゃんや乳幼児の死に関しては、私はこう言います。

第1コリント7章に、「両親のどちらかが信者なら、その子供は聖別されている。子供は聖い。」と書かれています。

つまり、両親のどちらかが救われていて、まだ自己判断ができない年齢の子供が死んだ場合、その子は天国へ行くということです。

ダビデに起こったことを覚えていますか。

バテ・シェバとの間にできた子が死んだ時、彼は何と言いましたか？

「私はあの子のところに行くだろうが、あの子は私のところに戻っては来ない。」

(Ⅱサムエル記12:23)

「私はいつか天国で息子に会える」という事実を語っています。

では、赤ちゃんの両親がどちらも救われていない、信者でない場合はどうなのでしょう。

その赤ちゃんは、天国に行くのでしょうか？

私には分かりません。

「なら、赤ちゃんは地獄へ行くというのか!？」

そうは、思いません。

でも、私には分からない。

皆さん、これは、私たちが確信を持って答えられないことの一つです。

第1コリントには、片方でも親が救われているなら子供は聖い、とはっきりと書いてあります。

でも両親共に信者でない場合は、私たちには分かりません。

それから、ピグミー族やアボリジニがどうなるかも私には分かりません。

一つ分かっているのは、神がローマ書1章で明確に言っていることです。

神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁明の余地はないのです。(ローマ1:20)

彼らの良心が自分に、【贖い】【赦し】【救い】が必要だと告げているのです。

もう一つ分かっているのは、

天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていない。

(使徒の働き4:12)

「ジョン、結局...殆ど何も知らないんだろ？」

そうです。

ただ私に分かっていることは、両親が信者ではない赤ちゃんに主がなさることを見た時、主がアボリジニを裁く様子を見た時、主が判決を下すのを見た時には、「これは、どうなんでしょう...本当に公平だと言えるのか...」「これが賢いやり方だとは思わないが...」と言う人は誰もいないということ。

全ての人が、私たちの誰もが、みんなが、4つの生き物のように、24人の長老たちのように、御使いたちのように言います。

「正しく真実だ！さすがだ!! 栄光あれ!!!」

「主よ。あなたの裁きは、正しく真実です。」

これを理解しておいて下さい。

天国にいる全員が、立場は違っても、みんなが口を揃えて何度も何度も繰り返します。

「真実で正しい！」

「真実」これはどういう意味ですか？

もっと天国的な思考を持てば持つほど、もっと主に近づけば近づくほど、もっと天国に目を向ける時間を持てば持つほど、神の裁きに対する疑問は薄くなります。

成熟すればするほど、疑問は減ってこう言うでしょう。

「主よ。どんなことであれ、あなたが選んで私の人生にもたらされた出来事は、どんなことでも、私の周りの人たちにあなたがもたらされたことは、主よ、正しく真実です。」

「主よ。あなたの裁きは、正しく真実です。」

つづく

すべての谷はうずめられ、すべての山と丘とは低くされ、曲がった所はまっすぐになり、
でこぼこ道は平らになる。(ルカ3:5)